

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2026

2

第40巻2号
(通巻462号)



峡西病院の理念

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味と一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

地域に向けて 認知症予防研修会を開催

12月19日、市川三郷町生涯学習センターにて、峡西病院認知症疾患医療センター主催の「認知症予防研修会」を開催しました。当日は地域住民の皆さまに多数ご参加いただき、認知症予防に関する最新の知見を学んでいただける機会となりました。

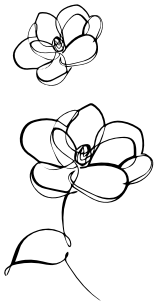
講師を務めたのは、当院長であり認知症専門医の川崎です。研修では、近年の国内調査で、認知症の有病率がこの10年で減少傾向にあることが示されており、その背景には、早期発見・早期介入の広がりや、予防に関する啓発活動の成果があると説明がありました。特に、軽度認知障害(MCI)の段階での対応が重要であり、この時期に生活習慣を見直すことで、発症を遅らせる可能性が高まることが紹介されました。

また、近年の研究により、運動習慣や食生活、社会参加、難聴へ

の対策など、複数の危険因子に取り組むことで、認知症の発症リスクを大きく抑えられる可能性があることも紹介されました。日常生活の中で無理なく実践できる具体的な方法に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

研修の最後には「認知症になっても自分らしく、幸せに暮らせる社会を目指すことが大切」とのメッセージが伝えられ、予防だけでなく、認知症とともに生きる視点の重要性について理解を深める時間となりました。

当院では今後も、地域の皆さまが安心して暮らせるよう、認知症に関する正しい知識の普及や相談支援、研修活動を継続してまいります。



病院機能評価について

当院では、1月に「日本病院機能評価機構」による病院機能評価の更新審査を受けました。当院は2011年に初めて認定を受けて以来、2016年、2021年と5年ごとに更新審査を受けており、今回もその歩みを継続するものです。

病院機能評価とは、日本病院機能評価機構という第三者機関が、病院の医療の質や安全への取り組み、患者さんへの配慮、職員同士の連携、病院運営の体制などを、一定の基準に基づいて総合的に確認、評価する制度で、いわゆる病院の「第三者評価」にあたるものです。

この評価で大切にされているのは、医療の技術や設備の充実だけではありません。患者さんが安心して医療を受けられる環境が整っているか、分かりやすい説明が行われているか、職員が一丸となって日々の医療やケアに正しく向き合っているかといった、病院全体

の姿勢やあり方そのものが問われます。

認定を受けること自体も重要ですが、それ以上に大きな意味を持つのが、「今の病院の在り方は本当に患者さんのためになっているか」を立ち止まって見つめ直す機会になることです。更新審査では、前回の受審以降にどのような改善を重ねてきたか、課題にどう向き合ってきたかが確認され、次の一歩につなげるヒントが得られます。

当院では、これまでの受審を通して得た気づきを日々の医療やサービスの改善に生かしてきました。今回の更新審査の結果はまだ届いていませんが、今回の結果も踏まえて、より質の高い医療と、地域の皆さまに安心してご利用いただける病院づくりにつなげていければと考えています。今後も地域に根ざした病院として、職員一同取り組んでまいります。

南山会

ロボティクスアワード2025

12月16日、陕西病院有朋館2階大ホールにて、法人内コンテスト「南山会ロボットアワード2025」を開催しました。本アワードは、医療・介護現場における日々の業務課題を職員自らが見つめ直し、デジタル技術を活用して解決策を考え、実践につなげていくことを目的とした取り組みです。

当日はアイデア部門※1およびロボット・システム開発部門※2の入賞者によるプレゼンテーションが行われ、業務の効率化や作業負担の軽減、情報管理の工夫など、現場の実情に即した多彩な取り組みが紹介されました。いずれの発表も、日常業務の中で感じた「困りごと」を出発点としており、参加者にとって共感しやすい内容となっていました。会場では発表に真剣に耳を傾ける姿が多く見られ、発表後には部門ごとに左記の賞が授与されました。

今後も南山会では、こうした取り組みを継続し、職員一人ひとりが主体的に業務改善やDXの推進にかか

わることができる風土づくりを進めていきます。

※1：アイデア部門は、当法人職員が考えた、デジタル活用アイデアを応募する部門（実際に開発・導入していなくても構わない）

※2：ロボット・システム開発部門は、実際に開発・導入したロボットやデジタルシステムを応募する部門



アイデア部門

【グランプリ】

★勤務表の自動作成

栄養グループ

中嶋千里・酒井美恵子

【イノベーション賞】

★生活歴テンプレート作成システム

心理グループ

篠原 朱里

★褥瘡物品管理ツール

OT・PTグループ

相川 知香

ロボット・システム開発部門

【グランプリ】

★病棟週間勤務表の作成

DX推進室

川口 敦

【エクセレンス賞】

★職員検診業務の効率化と
報告書自動判定の仕組みづくり

検査グループ

詫間 春香

★Excelを使用した業務の簡略化

栄養グループ

河西 七海

OT・PT だより

12月リスタート病棟では9つのグループに分かれて活動を行いました。

この時期はなかなか外に出る企画はできませんでしたが、今回は「食べることを中心に各グループ担当のスタッフがメンバーに何をしたいのか希望を聞き内容を決めました。

メンバーからは「味噌ラーメン」「ケーキチョコケーキ」「あんぱん」などの意見が出ました。当日は2階のOT室で準備の間はYouTubeで昔の映像の音楽を聞いたり相撲の映像を見たり、他の患者様やスタッフと話しをしてのんびりと過ごしました。出来上がった熱々のラーメンを食べたり、シャトレーゼのケーキをコーヒーマスターと一緒にお楽しみしました。普段なかなか食べる機会の少ないものを食べ皆さんから「おいしい」などの感想と共に笑顔がみられました。



リハビリテーションセンターだより

Q & A

Q 初めての場所ですし、集団活動も苦手で、他に利用されている方と「うまくやりとりをする自信」がありません。利用できますか？

A リハビリテーションセンターでは、施設基準の性質上、グループによる活動を中心に用意しております。また、おおむね1日あたり30名ほどの方が利用されております。個別対応にも限りがある現状です。

一方で、見学される方や利用を始められて間もない方より「他の人と上手にやっていけるだろうか」「リハセンターにてひとりで過ごすことが不安だ」といった声をよくいただきます。そのような「不安」や「利用への迷いの気持ち」がある方は、すでに「リハビリのスタート地点におられる」と考えております。「うまくできない」から「それなりになんとかかなるかもしれない」という気持ちに変わるサポーターでありたいと思っております。近い悩みを持つ仲間もおります。複数人が同時に同じ場所で別々の内容に取り組む個別活動の時間もあります。

プログラム紹介

カラオケサークル

【活動曜日】 毎週土曜日の午後 視聴覚室
【活動内容】

カラオケは人気のある活動のひとつです。自分が希望する曲を歌ったり、聞いたりし、ストレス解消、自己表現の場、コミュニケーション促進の場として楽しんでいます。

懐かしの歌謡曲から最新の曲までそれぞれの「好き」を大切にしながら、笑顔で和やかな時間を過ごしています。

換気や消毒なども行い体調管理にも気を配りながら実地していますので、安心してご参加していただけます。歌を通して仲間と一緒にカラオケを楽しみませんか？お待ちしております。



興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

* ホームページをぜひ、ご覧ください。

峡西病院 リハビリのご案内

検索

ろうけんTimes

TOPICS★

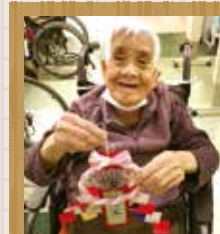
今月の

3F
通所
リハビリ

デイケアでは「新年会」を開催し、おみくじやお賽銭投げゲーム、羽子板などで盛り上がりました(^^) 中でも獅子舞が登場し練り歩き、皆さんの頭を噛んでまわると、笑顔が多くみられました(#^_^#) 利用者の皆さまからは「楽しかった」「今年も転ばずに元気に過ごしたい」といった声が聞かれ、新年の良いスタートとなりました(*^_^*)

2F
認知症
専門棟

「園芸の会」では「大根を食べる会」を開催しました★ 以前皆さままで丁寧に種をまき、日々の成長を見守ってきた大根をいよいよ収穫♪立派に育った大根を手に「よく育ったね」「待ったかいがあったよ」と笑顔が広がりました(^^) 自分たちで育てた大根の味は別格で、自然と会話も弾みました◎ この一連の体験は季節の恵みと達成感を感じられるひとときとなりました(*^▽^*) これからも土に触れ、育て、味わう楽しみを大切にしていきたいと思います(^o^)

1F
一般棟

制作グループでは、年末恒例の活動として「正月飾り作り」を行いました♪ 色とりどりの飾りを前に、「来年は元気に過ごしたいね」「家族が笑顔でいられますように」とそれぞれの願いを込めながら、丁寧に手を動かす姿が印象的でした(≧◇≦) 完成した飾りを手に、皆様の表情も自然と晴れやかに★ 新しい年への希望を感じる、心温まるひとときになりました(*^_^*)

* 峡西老健のホームページも
ご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健
の 理 念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、T・Wさんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：地縛少年花子くん

(作者：あいだいろ／出版社：スクウェア・エニクス／出版年月日：2011年)

●読んだきっかけは？

子供(娘)が、夢中になっていたのので、どんな話なのかと興味が湧き、読み始めました。

●おすすめのポイントは？

昔から噂されている学校の七不思議のひとつ「トイレの花子さん」とは一味も二味も違う世界観で繰り広げられる怪異騒動です。「トイレの花子さん」なのに少年？と思いました。次はどんな話だろうとドキドキワクワクしながら楽しめる、花子くんとオカルト少女が繰り広げるハートフルコメディです。様々なキャラクターも出て来て、かなりコミカルに描かれているため、怖い話が苦手な人でも楽しく読むことが出来ると思います。

ぜひお時間を作って読んでみて下さい。

患者の権利と責任

あなたには、「その人らしさをともに創造する」の理念の下、治療の主体者として、以下の権利と責任があります。

1. 必要かつ十分な医療サービスを、あなたにふさわしいやり方でいつでも受ける権利
2. 治療の主体者として、医療者と協力して病気を治すことに参加する責任
3. 病名・病状・予後・診療計画・薬の名前や作用・副作用、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利
4. 個人の秘密が守られる権利および私的なことに干渉されない権利
5. 自分の患者としての行動に適用される病院の規定・規則を知る権利とそれを守る責任
6. 自分が受けた医療等に関する費用の請求を点検し、説明を受ける権利と、決められた期限までに請求された医療費等を支払う責任
7. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責任
8. 治療上必要な必要最小限の行動の制限を受けることがありますが、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に定められた、面会・通信の自由、退院請求を行う権利及び治療・対応に対する不服申立てをする権利と、これらの請求や申立てをしたことによって不利に扱われない権利

私の趣味は多彩である。定番の読書やドライブ、あるいは登山や釣りといったアウトドア系からダム巡りといったマニアックなもの、果ては表立っては言いにくいような趣味まで……と、とてもここには書ききれないほどある。これほど趣味が多彩となったのは深掘りする癖があるためだろう。深掘りと言うが、実際は本来の目的からはずれて脱線し、結果あらぬ方向に向かうといったことも多い。しかしそうしたことで却って趣味が広がった。例えば登山では登頂が大きな目的だが、山の成り立ちを深掘りしていくうちにダム巡りが趣味となつたし、山の植物を深掘りして高山植物を観に行くことが趣味となつた。表立っては言いにくいことだが、精神科医療に携わること



(の一部)も趣味だといえる。読書を趣味としているとドストエフスキーといった古典文学やフロイトといった精神分析について言及する作品と沢山出会う。それらを読んでいくと人の心とは何か、心を病むとはどういうことか、そしてそれが治るとは……を深掘りしたくなり、とうとう精神科医療に携わる身となつてしまった。こちらも深掘りしたいところだが簡単ではない。ヴァレリーの文学や西田哲学は難解さで知られるが、同様の難しさが精神科医療にもある。何度となく行き詰まり、頭を抱えた。ただ人の心の深掘りというのは壮大な趣味と思われるので、挫折や失敗を繰り返しつつも一歩ずつ進めていければと考えている。

耕子



「質が高いと感じられる医療」とはなんでしょう。私は、「最近「質」を「納得感」と読みかえて、考えることを試みています。

令和8年1月、峡西病院では、日本医療機能評価機構による4回目の「病院機能評価」受審に臨みました。機構ホームページによれば「病院機能評価は、国民が安全で安心な医療を受けられるよう、4つの評価領域（患者中心の医療の推進、良質な医療の実践1、実践2、理念達成に向けた組織運営）から構成される評価項目を用いて、病

院組織全体の運営管理および提供される医療について評価することになっております。

峡西病院もこれまで3度の認定を受けてきたわけですが、「認定病院は地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院」とされ、全国に2100あまりの医療機関が認定されています。

話は少し変わりますが、先日、うかがった飲食店でこんなことがありました。メニューの1つに「おまかせ」という文字に金額のみが書かれておりました。お店の方に「どのようなもの」が提供されるかを尋ねてみたところ、厨房の奥にいた方が来てくださり「おまかせって言うのはね……」という説明をしてくださいました。お客さんが他に注文した内容を聞いた上で、お店側

が考えて、「おすすめ」するものをしてくださるということでした。恥ずかしながら私は「おまかせ」の意味を理解していなかったのです。そういえば、学生時代に、パチンコで得た泡銭で先輩とともに初めて座ったカウンターで、好きなお寿司をお腹いっぱいになるまで注文し、当時住んでいたアパートの家賃分くらいの会計になったことも思い出しました。

今もなお、どちらの立場にあっても、お客様とサービスを提供する側のコミュニケーションの大切さを学ぶ経験を日々積み重ねています。

「質の高い医療」とは何か、安全・安心、信頼と納得の得られる要素とは何か、これからも考え続けていきたいと思っています。

工藤 伸治

こちら編集室

ネット社会になり、YouTubeやTikTokなど、様々なアプリが開発され、いつでもどこでも国内外の方々の交流や動画、ライブなどを気軽に閲覧できる環境になりました。

私がよく観ているのは、数学や物理の解説動画です。アインシュタインが説いた相対性理論は奥が深く、聞けば聞くほど面白く、何回も観ています。家族には、その面白さは全くとっていいほど伝わっていません。

3人の子どもも、それぞれ趣味が違います。ゲーム実況、アニメ、料理、お笑いなど、色々な動画を観て楽しんでおり、流行りやお気に入りなどを聞いたりしています。が、その面白さを理解するのが大変で、若い者に付いていけず、自分も年を取ったなあと感じています。

いつの時代も、子供たちの方が変化に敏感で、すぐに取り込み、活用しています。今の子どもたちはいずれ大人となり社会に出ていきます。そして、また新しいものを作り上げていく。その繰り返しですが、10年20年後にはいつたどんな世界になっているのか楽しみです。

今月の予定 2月

- 3日 ケアする病院ネットワーク研修会 (都内)
- 4日 診療会議
- 20日 防災委員会
- 27日 新入職員研修「老健でのリハビリ」

今月の一枚

機能訓練室にあるドラセナ(幸福の木)の花が咲きました。患者さんと一緒に育てています。2026年が皆様にとって幸せな1年でありますように！



「おあしす」に関するアンケートにご協力をお願いします

いつも「おあしす」をご愛読いただきありがとうございます。より良い広報誌を目指していくために、アンケートにご協力をお願いします。

■下記QRコードからアンケートへの回答をお願いします。



おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

立春やきが館たち栄あれ

今福 和人

十日市待つていました寒い日々

大森真知子

ぬくもりて蛙キヨロキヨ庭先に

カナメ

椿咲く畑の隅に鳥一羽

保坂五十鈴

味噌汁を蛸を入れて食べたいな

H・H

入口の空までとどくかねの音

諭勝

2月はね梅の花の梅酒かな

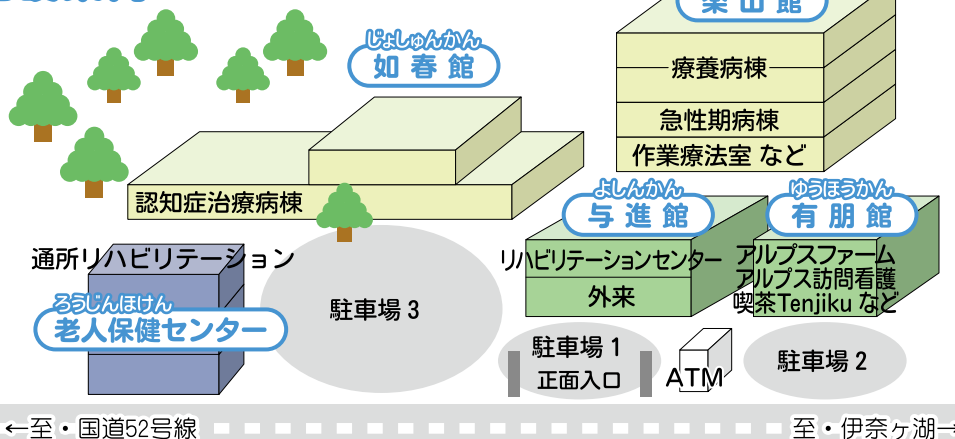
渡辺 あき

あなたらしく生きて行こう

渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です☑



交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府ー南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鰍沢営業所行き (西野経由) 鰍沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第462号 1987/9/5創刊

発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 南山会

広報委員会

川崎洋介、大槻清志、清水悠司、相川なつき、渡邊 彩、雨宮尚登、渡辺敏夫、對馬鈴香、金丸 綾、藤田辰徳、川口 敦

次回463号も
お楽しみに！